



<バイオ医薬・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2025 年 11 月 19 日

バイオ医薬・株式市場ニュースレター

■市場レビュー

2025 年 10 月、先進国株式は上昇した。バイオ医薬セクターの銘柄群は大幅に上昇、ヘルスケアセクターをも上回るパフォーマンスを示した。ポジティブな臨床試験結果をアップデートした銘柄群としては、筋ジストロフィーでの米ブリッジバイオ・ファーマ(BBIO)、胃食道がんでの米アークス・バイオサイエンシズ(RCUS)、心不全での米テクトニック・セラピューティクス(TECX)などが挙げられる。

一方、ネガティブまたは微妙な報告をした企業には、嚢胞性線維症での米アークトゥルス・セラピューティクス(ARCT)、認知症での米アレクター(ALEC)、および心筋症を伴うトランスサイレチン型心アミロイドーシスや多発性神経障害での米インテリア・セラピューティクス(NTLA)などが含まれていた。

規制関連として、米国食品医薬品局(FDA)から承認された新薬には、アイルランドのジャズ・ファーマシューティカルズ(JAZZ)の小細胞肺癌を適応対象とする Zepzelca、米シンダックス・ファーマシューティカルズ(SNDX)の急性骨髄性白血病に対する Revuforj が挙げられる。

FDA は、米コージェント・バイオサイエンシズ(COGT)の非進行性全身性肥満細胞症に対する bezuclastinib にブレイクスルー(画期的)治療の指定を与えた。そして、史上初の国家優先バウチャー(審査期間が通常の 10～12 か月から 1～2 か月に短縮される)を、米レボリューション・メディシズ(RVMD)のすい臓がんに対する daraxonrasib と米ディスク・メディシン(IRON)の赤芽球性プロトポルフィリン症という酵素活性の低下によっておこる疾患に対する bitopertin に付与した。

i シェアーズ・バイオテクノロジーETF の価格推移 (2019/10 末～2025/10 末)



(出所)ブルームバーグのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



M&A(企業の合併や買収)活動としては、スイスのノバルティスによるアンチセンスオリゴヌクレオチド技術を有する米アビディティ・バイオサイエンス(RNA)の買収が約 110 億米ドル(約 46%のプレミアム)、デンマークのノボ ノルディスクによる代謝機能障害関連脂肪肝炎(MASH)向け開発品を有する米アケロ・セラピューティクス(非公開企業)の買収が約 47 億米ドル(約 49%のプレミアムと推定)、アイルランドのアルカームズ(ALKS)による睡眠障害向けに注力するアイルランドのアヴァデル・ファーマシューティカルズ(AVDL)の買収が約 19 億米ドル(4%のプレミアム)、ブリストル マイヤーズ スクイブによる自己免疫疾患向けメッセンジャーRNA 技術を有する米オービタル・セラピューティクス(非公開企業)の買収が約 15 億米ドル、米イーライリリーによる眼疾患向けバイオ医薬企業の米アドバルム・バイオテクノロジーズ(ADVM)の買収が「7.32 億米ドル(17%のディスカウント)+最大約 18 億米ドル相当の条件付き価値権(CVR)」、米バイオクリスト・ファーマシューティカルズ(BCRX)による遺伝性血管性浮腫向けに強い米アストリア・セラピューティクス(ATXS)の買収が 4.78 億米ドル(33%のプレミアム)で、仏イプセンによる血液がん向け企業の仏イムチェックの買収のディールサイズ 4.06 億米ドルなどが事例として挙げられる。ライセンス活動としては、米オメロス(OMER)が、ノボ ノルディスクと血液疾患領域でのアセットに関して 3.4 億米ドルの契約一時金とマイルストーンを対価とするグローバルライセンス契約を締結した。

■ パフォーマンス分析

10 月の絶対リターン上位		10 月の絶対リターン下位	
ロイバント (+32%)	皮膚筋炎に対するフェーズ 3 VALOR 臨床試験で良好な結果	ザイラボ (-23%)	胃がんに対するフェーズ 3 FOR TITUDE-101 試験が失望的結果
インスメッド (+32%)	新薬・Brinsupri の第 3 四半期 (Q3)売上が好調	ビーワン (-9%)	2025 年 Q3 業績に対して投資 家が抱く不確実性
リジエネロン (+16%)	Dupixent(アトピー性皮膚炎) の Q3 売上が好調	サミット (-8%)	非小細胞肺癌に対するフェーズ 3 HARMONi-3 試験の修正

出所：セクトラル アセットマネジメント資料に基づき当社が翻訳

■ 企業ハイライト：イマティクス

イマティクス(IMTX)はドイツのバイオ医薬企業で、悪性黒色腫向け Anzu-cel を開発している。Anzu-cel は、患者自身の免疫細胞を改変、がんを攻撃するようにする細胞療法であり、皮膚悪性黒色腫およびびんどう膜悪性黒色腫の治療に単回投与される。これら 2 つの主要適応症において、Anzu-cel はベストインクラスの治療薬となる可能性があり、米国において数十億ドル規模の商業的潜在性がある。フェーズ 1b 試験の結果では、腫瘍が大幅に持続的に縮小することが示され、2 年半以上にわたりがんの転移を抑制した症例があった。これらの結果に基づき、Anzu-cel は FDA より再生医療先進療法(RMAT)の指定を受けている。皮膚悪性黒色腫を対象とするフェーズ 3 SUPRAME 試験が現在進行中で、2026 年に結果が出る予定である。フェーズ 3 試験の結果が成功すれば、株主にとってさらなる価値が生まれると考えられる。

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



CAM

Capital Asset Management

www.capital-am.co.jp



当資料は、世界バイオ医薬株式ファンドのアドバイザーであるセクトラル アセットマネジメントによる英語版ニュースレターに基づきキャピタル アセットマネジメントが翻訳作成したものです。権利上の都合などにより、省略または改変した部分があります。原資料にご興味があれば、当社マーケティング本部 (marketing@capital-am.co.jp) までお問合せください。

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。